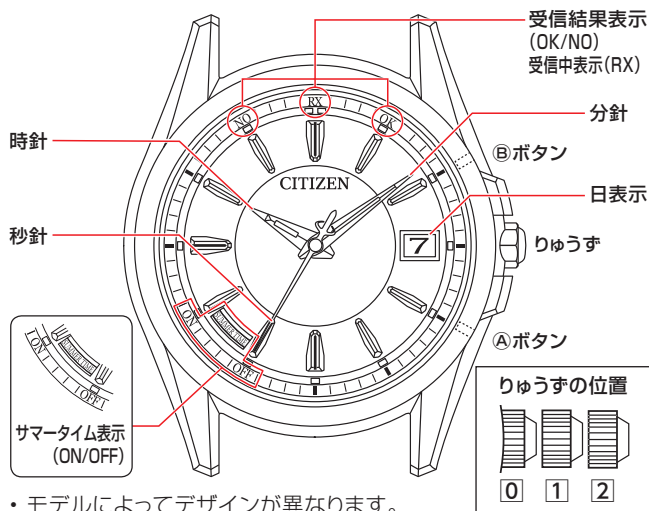


H128 簡易操作ガイド

- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。

 H128取扱説明書

各部の名称



・モデルによってデザインが異なります。

現在の充電量を確認する

1. りゅうずの位置を①にする

2. ①ボタンを押す

秒針の動きで充電量をお知らせします。

「OK」または「NO」を指す	十分に充電されています。
反時計回りに動いてから「OK」または「NO」を指す	充電が必要です。十分に充電してください。

・秒針は、「OK」または「NO」を指しますが、これは充電のようすとは関係ありません。

3. ①ボタンを押して、終了する

現在の時刻に戻ります。

- ボタンを押さなくても、約10秒すると自動で現在の時刻に戻ります。

受信結果を確認する

この時計は、標準電波を毎日午前2時に受信し、時計/カレンダーを自動で合わせます。午前2時に受信できなかったときは、午前3時、午前4時に再度受信を試みます。

1. りゅうずの位置を①にする

2. ①ボタンを押す

秒針が動き、前回の電波の受信結果を指します。

表示	受信結果
OK	受信に成功しました。
NO	受信に失敗しました。

・受信に失敗している場合は、「電波を手動で受信する(強制受信)」の手順に従い、電波受信をしてください。

3. ①ボタンを押して、終了する

現在の時刻に戻ります。

- ボタンを押さなくても、約10秒すると自動で現在の時刻に戻ります。
- 電波を正しく受信しても、受信環境や時計内部処理により、時刻表示にわずかなずれが生じます。

都市を設定する

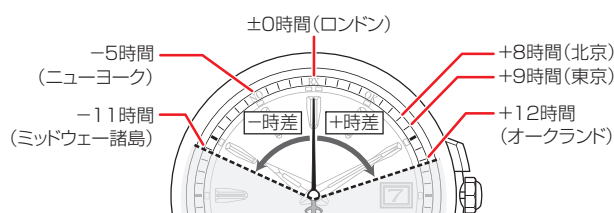
この時計では、設定する時差によって、電波受信の受信局が異なります。ご利用の際は、時差設定にご留意ください。

1. りゅうずの位置を①にする

秒針が動き、現在設定されている時差を指します。

2. りゅうずを回して時差を設定する

- 「標準時刻におけるUTC(協定世界時)を基準とした時差を設定します。
- 秒針の1秒分が1時間の時差に相当します。



3. りゅうずの位置を①にして、終了する

現在の時刻に戻ります。

都市名一覧

略称と秒針の指す位置	都市名	時差	電波局
LON 0秒	ロンドン	0	
PAR 1秒	パリ	+1	ドイツ
ATH 2秒	アテネ	+2	
RUH 3秒	リヤド	+3	ドイツ◆
DXB 4秒	ドバイ	+4	
KHI 5秒	カラチ	+5	
DAC 6秒	ダッカ	+6	中国◆
BKK 7秒	バンコク	+7	
BJS 8秒	北京	+8	中国
TYO 9秒	東京	+9	日本
SYD 10秒	シドニー	+10	
NOU 11秒	ヌーメア	+11	日本◆
AKL 12秒	オークランド	+12	
MDY 49秒	ミッドウェー諸島	-11	
HNL 50秒	ホノルル	-10	アメリカ◆
ANC 51秒	アンカレジ	-9	
LAX 52秒	ロサンゼルス	-8	
DEN 53秒	デンバー	-7	アメリカ
CHI 54秒	シカゴ	-6	
NYC 55秒	ニューヨーク	-5	
SCL 56秒	サンティアゴ	-4	アメリカ◆
RIO 57秒	リオデジャネイロ	-3	
FEN 58秒	フェルナンド・デ・ノローニャ諸島	-2	
PDL 59秒	アゾレス諸島(ボンタデルガタ)	-1	ドイツ◆

- 一覧表の時差は、UTC(協定世界時)からの時差です。
- 一覧表にない都市で時計を使用する場合は、同じ時差の都市を設定してください。
- 時差は、国や地域の事情により変更される場合があります。
- ◆の都市は受信範囲外であり、受信することはできません。(受信時には各局の電波を受信しようと動作します)
- 電波の届きにくい環境では、電波を受信できないことがあります。

電波を手動で受信する(強制受信)

受信が完了するまでに2分から15分程かかります。

1. リューズの位置を①にする
2. **A** ボタンを2秒間以上押し続ける

秒針が「RX」を指し、電波受信を始めます。受信が終了すると、秒針が通常の動きに戻ります。

受信に成功した場合: 修正された時刻を表示します。

受信に失敗した場合: 時刻は修正されず、現在の時刻に戻ります。

- ・受信を中断したいときは、**A** ボタンを2秒間以上押し続けます。

サマータイムを設定する

サマータイムを行っている地域では、標準電波にサマータイム信号が含まれます。

1. リューズの位置を②にする
2. リューズを回して、サマータイム設定を変更する

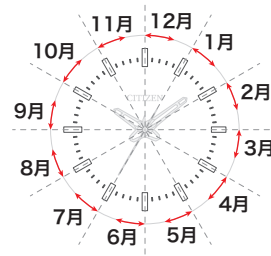
表示	内容
ON	サマータイムが表示されます。 電波を受信すると、サマータイム信号の有無によって、標準時刻 / サマータイムを自動で切り替えます。
OFF	標準時刻が表示されます。サマータイム信号を受信しても、標準時刻表示のままです。

3. リューズの位置を③にして、終了する

時刻とカレンダーを手動で合わせる

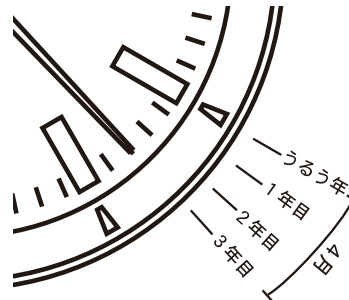
この時計のカレンダーは、うるう年を含む2100年2月28日まで、修正不要です。(パーペチュアルカレンダー)

1. リューズの位置を②にする
2. **A** ボタンを押す
秒針が0秒を指します。
3. リューズを回して、分を合わせる
・リューズを素早く回転させると、分針が連続して動きます。
リューズを少し回すと止まります。
4. **A** ボタンを押す
時針が合わせられるようになります。
5. リューズを回して、時を合わせる
・日表示が切り替わったときが午前0時です。午前/午後を間違えないよう注意します。
・リューズを素早く回転させると、時針が連続して動きます。
リューズを少し回すと止まります。
6. **A** ボタンを押す
日表示が合わせられるようになります。
7. リューズを回して、日表示を合わせる
・リューズを素早く回転させると、日表示が連続して動きます。
リューズを少し回すと止まります。
8. **A** ボタンを押す
現在設定されている年と月が、秒針で表示されます。
9. リューズを回して、年と月を合わせる
・月は、時刻の「時」の範囲で示されます。



- ・年は、うるう年からの経過年数で表示され、各月の範囲内での秒針の位置で示されます。
うるう年からの経過年については、サポートの「仕様・機能・購入」から、うるう年経過年早見表をご参照ください。
<http://citizen.jp/cs/guide/index.html>

(例)2015年4月に合わせるときは
4月→4時の範囲
2015年→うるう年から3年目

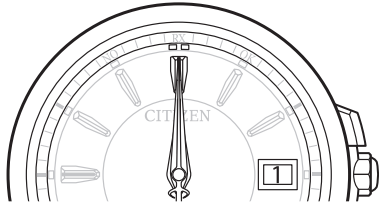


- ・リューズを素早く回転させると、秒針が連続して動きます。
リューズを少し回すと止まります。

10. 時報に合わせて、リューズの位置を③にする
秒針が動きはじめます。

基準位置を確認する

1. リューズの位置を①にする
2. ⑧ボタンを5秒間以上押し続ける
各針と日表示が動き、現在の基準位置を表示します。
・針と日表示が動いている間は、操作をすることはできません。
・正しい基準位置:
すべての針が12時位置、
日表示が「1」
現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。
3. リューズの位置を②にして、確認を終了する
時刻表示に戻ります。



基準位置を修正する

1. リューズの位置を①にする
2. ⑧ボタンを5秒間以上押し続ける
各針と日表示が動き、現在の基準位置を表示します。
3. リューズの位置を②にする
4. ④ボタンを押す
時針がわずかに動きます。
5. リューズを回して、時針を「0時」に合わせる
・リューズを素早く回転させると、時針が連続して回転します。
リューズを少し回すと止まります。
6. ④ボタンを押す
分針と秒針が動きます。
7. リューズを回して、分針を「0分」、秒針を「0秒」に合わせる
・リューズを素早く回転させると、分針と秒針が連続して回転します。リューズを少し回すと止まります。
・秒針と分針は連動します。
8. ④ボタンを押す
日表示がわずかに動きます。
9. リューズを回して、日表示を「1」に合わせる
・リューズを素早く回転させると、日表示が連続して回転します。
リューズを少し回すと止まります。
10. リューズの位置を②にして、終了する
時刻表示に戻ります。

オールリセットを行う

1. リューズの位置を②にする
2. ④ボタンと⑧ボタンを同時に押す
秒針が0秒の位置まで動き、時針と日表示がわずかに動いてオールリセットされます。

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置を合わせ直してください。
その後、時差設定を行い、手動で電波を受信して(強制受信)、時刻とカレンダーを合わせ直してください。